

## 9 アルマの重ね葺き工法

### 9-6 下葺材の施工

ニチハ『あんしん』屋根カバー工法（一般）  
（既存屋根が石綿を含む場合）

#### 2)ニチハ『あんしん』屋根カバー工法（一般）

ニチハ『あんしん』屋根カバー工法は、**石綿（アスベスト）を含んだセメント系新生瓦**の上に重ね葺き工法により屋根材を施工する際、**片面粘着層の付いていない下葺材**を使用することで、将来的な建物の解体時の廃棄物（石綿含有建材）分離処分をしやすくするものです。下葺材の固定には「あんしん壁倍率5.0用めっき鋼板」を使用し、重ね葺き専用釘で留め付けます。

#### 下葺材留め付け補助部材

商品名	品番	サイズ
あんしん壁倍率5.0 めっき鋼板	FA4000	0.35×30×855mm

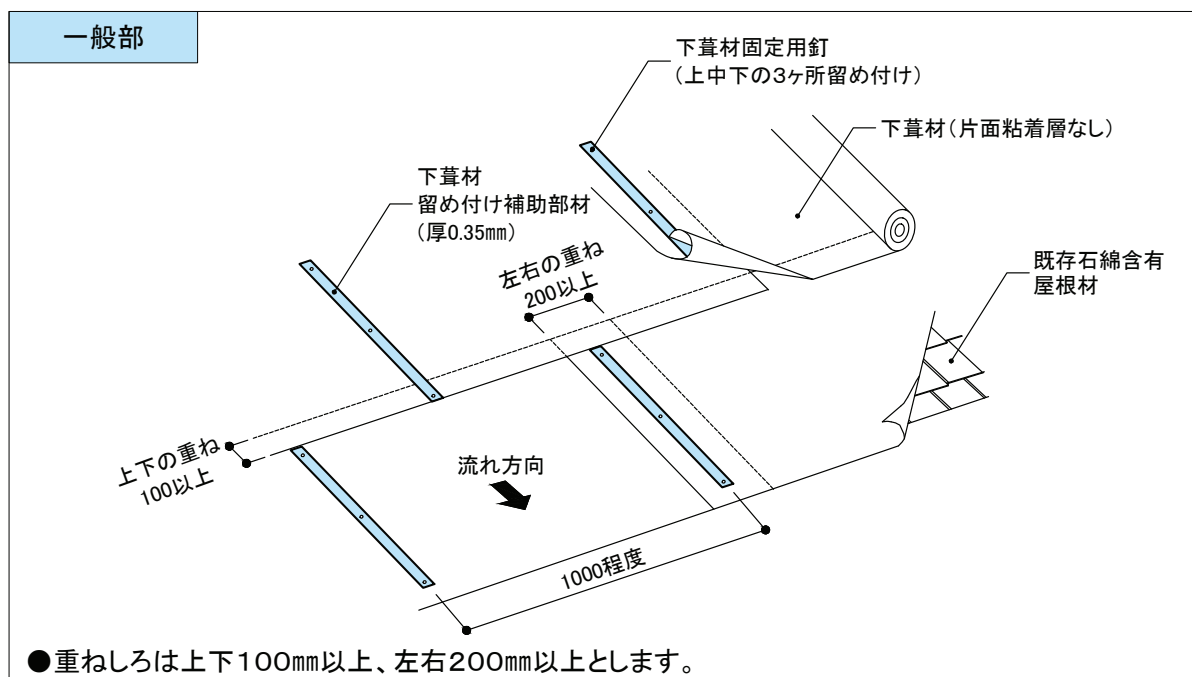
#### 下葺材固定用釘

商品名	品番	サイズ
アルマ重ね葺き用連結釘	SAR110	φ3mm×43mm

※連結釘の施工には専用の釘打ち機が必要です。推奨機種については弊社営業所までお問い合わせください。

#### ■下葺材の施工方法（勾配3.5寸以上の場合）

- 下葺材留め付け補助部材は流れ方向に平行に留め付けます。
- 既存屋根材の上に下葺材を敷きながら1000mm前後の間隔で下葺材留め付け補助部材を施工します。
- 下葺材留め付け補助部材には、上中下の3ヶ所を下葺材固定用釘にて留め付けます。
- 下葺材の左右重ね部分には必ず下葺材留め付け補助部材を設置し、固定します。
- 施工する地域の風の強さ、下葺材施工後の新規屋根施工までの間隔を考慮し、必要に応じて下葺材留め付け補助部材の数を増やすなど調整してください。



※既存屋根材が石綿含有建材の場合、建築物の解体工事における各種法令を遵守し、適切に対応してください。

※下葺材の施工は、住宅会社様・工事店様にて保険機構等の仕様をご確認頂き、雨漏れしないよう確実に行ってください。参考として保険機構等の代表例を上記に記載します。